

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人上田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
ファッション 専門課程	ファッションプロデュース学科	夜・通信	390	320	
	トップクリエイター学科	夜・通信	450	240	
	ファッションクリエイター学科	夜・通信	330	240	
	ファッションクリエイターアトバンス学科	夜・通信	180	160	
	ファッションクリエイター夜間学科	夜・通信	324	135	
	ファッションビジネス学科トップマネジメントコース	夜・通信	192	160	
	ファッションビジネス学科ファッションビジネスコース	夜・通信	180	160	
	ファッションビジネス学科ブライダルファッション・ビジネスコース	夜・通信	180	160	
	ファッションビジネス学科スタイリストコース	夜・通信	240	160	
	スタイリングフォト学科	夜・通信	300	240	
	ファッションクラフトデザイン学科(3年制)	夜・通信	240	240	
	ファッションクラフトデザイン学科(2年制)	夜・通信	240	160	
	ファッション雑貨デザイン学科	夜・通信	240	160	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ <https://www.ucf.jp/information/>

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人上田学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP 上に公開 URL:<http://www.uedagakuen.ac.jp/>

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授 (平成 13 年 10 月～)	平成 23 年 6 月 1 日～令和 8 年 6 月 23 日	学校教育関係 等
非常勤	会社役員 (平成 16 年 5 月～)	平成 24 年 4 月 1 日～令和 8 年 6 月 23 日	不動産関係 等
非常勤	芸術大学教授 (令和 4 年 3 月～)	令和 4 年 6 月 24 日～令和 8 年 6 月 23 日 (新任)	デザイン関係 等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人上田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育課程編成委員会・外部委員の意見等を参考にしながら各学科で検討したカリキュラムを9月の学科長会議に上程し、カリキュラム構成を決定する。 これに基づき各学科で科目担当を割り振り、担当者がシラバスを作成し、年度末に教務部が取りまとめを行う。</p> <p>点検の後、学生には4月の授業時に各担当から発表し、一般にはHPにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校ホームページ</p> <p>URL: <a href="https://www.ucf.jp/information/">https://www.ucf.jp/information/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>実習・演習科目においては、取り組む際に、各課題の到達目標・評価基準を学生に伝えることを基本とし、課題返却時に各自の習熟度が理解しやすいように努めている。 講義科目においては、小テストやレポート添削によって双方向の教育を実施するよう努めている。 また産学官の取り組みに際しては、事業の事前・事後のレポートを課すなどして、学生が自らの変化に気づきを与えられるよう取り組む。 試験週間には実習授業も含め、すべての科目で試験を実施し、客観的な評価の把握に努めている。</p> <p>こうした結果を集計し、100点満点で評価を行い、単位を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績を各科目100点満点で評価し、科目ごとに平均点を計算し、成績分布の把握に努めている。</p>	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	「指導要項」および「客観的な指標の算出方法」を上田安子 服飾専門学校教務部で保管、閲覧可
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施して いること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格することにより、 所定の単位数を取得すること。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校ホームページ URL: <a href="https://www.ucf.jp/information/">https://www.ucf.jp/information/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人上田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP 上で公表 <a href="http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html">http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html</a>
収支計算書又は損益計算書	HP 上で公表 <a href="http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html">http://www.uedagakuen.ac.jp/finance.html</a>
財産目録	学園本部保管・閲覧可
事業報告書	学園本部保管・閲覧可
監事による監査報告（書）	学園本部保管・閲覧可

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッション・ プロデュース学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3874 単位時間	250 単位時間	1894 単位時間	1730 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		97人	1人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、ファッション産業における企画・流通部門の専門人材を育成することを目標としている。 ファッション商品の製造から流通に至る過程を、企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。 グローバルな視点を持った人材を養成するべく在学中、2回の海外研修を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>ITC を活用した学修を進めるべく個人で PC を所有する際に学校が援助している。また産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。海外研修の事前学習としては外国語教育プログラムの充実に努めている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ファッション関連企業、アパレルおよび雑貨メーカー、専門店 等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	8人	10.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更・学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	トップクリエイター 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2722 単位時間	490単 位時間	582 単位時間	1650 単位時間	—	—
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110人		107人	0人	3人	13人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
--------------------------

<p>(概要)            技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。            アパレル商品の製造から流通に至る過程を、企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。            グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、3年次には海外で作品発表の研修を実施する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>(概要)            試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>(概要)            規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>(概要)            産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。また海外展示会の製作に際し、学校が工賃等を支援している。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	4人 (10.8%)	26人 (70.3%)	7人 (18.9%)
<p>(主な就職、業界等)            アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等</p>			
<p>(就職指導内容)            キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)            ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	11人	9.3%
<p>(中途退学の主な理由)            進路変更・学業不振</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)            担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>		



分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション 専門課程	ファッション クリエイター学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2722 単位時間	490単 位時間	582 単位時間	1650 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
390人	455人	6人	14人	42人	56人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 アパレル商品の製造から流通に至る過程や、衣装製作等の実践について企業等との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 試験、提出課題、授業態度を評価する。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
（概要） 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
101人 (100%)	0人 (0%)	69人 (68.3%)	32人 (31.7%)
（主な就職、業界等） アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等			
（就職指導内容） キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
417人	39人	9.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションクリエ イター夜間学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1718単位時間	57 単位時間	105 単位時間	1548 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		50人	0人	3人	7人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 アパレル商品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。
学修支援等
(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	7人 (50.0%)	7人 (50.0%)
（主な就職、業界等） アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等			
（就職指導内容） キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	11人	20.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更・学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション 専門課程	ファッションクリエイターアドバンス 学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1966単位時間	200 単位時間	596 単位時間	1170 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	20人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、アパレル産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 アパレル商品の製造から流通に至る過程や、衣装製作等の実践について企業等との連

携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をと おして学修する。			
成績評価の基準・方法			
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに 素材提供等の支援を受けている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	5人 (55.6%)	4人 (44.4%)
(主な就職、業界等) アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、舞台衣装関連事業等			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定、パターン検定 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 トップマネジメントコース	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816単位時間	790 単位時間	596 単位時間	430 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
230人の 内数	18人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）								
<p>（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>アパレル商品の企画から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、商品の企画・提案から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p> <p>グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、2年次には海外でバイイング等の研修を実施する。</p>								
成績評価の基準・方法								
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>								
卒業・進級の認定基準								
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>								
学修支援等								
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに、課題の発表時に企業の審査員を招請し、評価を受けている。</p>								
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>卒業生数</th> <th>進学者数</th> <th>就職者数 (自営業を含む。)</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12人 (100%)</td> <td>0人 (0%)</td> <td>12人 (100%)</td> <td>0人 (0%)</td> </tr> </tbody> </table>	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他					
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)					
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アパレル企業、雑貨メーカー、小売業</p>								

(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
220人の内数	23人の内数	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816単位時間	790単位 時間	596 単位時間	430 単位時間	—	—
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
230人の 内数		65人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。 ファッション商品の企画から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、商品の企画・提案から販売にいたるまで演習をとおして学修する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準

(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに、課題の発表時に企業の審査員を招請し、評価を受けている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	3人 (9.4%)	24人 (75.0%)	5人 (15.6%)
(主な就職、業界等) アパレル企業、雑貨メーカー、小売業			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
220人の内数	23人の内数	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 スタイリストコース	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816 単位時間	790 単位時間	596 単位時間	430 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

230人の 内数	119人	0人	3人	14人	17人
-------------	------	----	----	-----	-----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランド等の広報にかかるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>主としてファッション商品の広報にかかる過程を企業との連携によるプログラム等を活用しながら演習をとおして学修する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、各種ファッションイベントにおけるスタイリスト業務等の研修を充実させている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	0人 (0%)	51人 (91.1%)	5人 (8.9%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>スタイリスト事務所、フォトスタジオ、アパレル企業、雑貨メーカー、小売業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
220人の内数	23人の内数	10.5%



(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション 専門課程	ファッションビジネス学科 ブライダルファッション・ビジ ネスコース	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1816 単位時間	790 単位時間	596 単位時間	430 単位時間	—	—
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
230人の 内数		4人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ショップやブランドの企画・運営・広報わたるファッションビジネスの専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>主としてドレススタイリングに特化したカリキュラムを企業との連携によるプログラム等を活用しながら演習をとおして学修する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、ホテル業者等と連携し、校外での研修を充実させている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
—	—	—	—

(主な就職、業界等) ブライダルサロン、スタイリスト事務所、フォトスタジオ、アパレル企業、小売業
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターシップ
(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等
(備考) (任意記載事項) 令和4年度に新設のコース

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
—	—	—
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション専門課程	スタイリングフォト学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2730 単位時間	279 単位時間	2031 単位時間	420 単位時間	—	—
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		13人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、ファッションブランド等の広報にかかる専門人材を育成することを目標としている。 ファッション商品の広報について企業との連携によるプログラム等を活用しながら、演習をとおして学修する。 グローバルな視点からのファッション産業を体感するべく、3年次には海外で作品発表の研修を実施する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。

卒業・進級の認定基準			
(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。			
学修支援等			
(概要) 撮影機材等の充実に加え、海外研修のための外国語教育プログラムの充実に努めている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75.0%)	1人 (25.0%)
(主な就職、業界等) フォトスタジオ、写真家事務所、アパレル企業、雑貨メーカー、小売業 等			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定 等			
(備考)（任意記載事項） 令和元年度の新設学科により卒業生はなし。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション専門課程	ファッションクラフトデザイン学科 (3年制)					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

3年	昼	2730	180	410	2140	—	—
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	9人	1人	2人	9人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、シューズ・バッグ産業における企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>商品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p> <p>グローバルな視点からのファッション産業を実感するべく、3年次には海外で作品製作および発表の研修を実施する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
シューズ・バッグ製造企業、雑貨メーカー、小売業 等			
（就職指導内容）			
キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
（主な学修成果（資格・検定等））			
ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、バッグ検定 等			
（備考）（任意記載事項）			
令和4年度よりファッションクラフトデザイン学科からファッションクラフトデザイン学科（3年制）に学科名称を変更。なお専門士資格については令和4年3月31日以前に			

入学した年度
--------

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	2人	18.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		ファッション専門課程	ファッションクラフトデザイン学科 (2年制)				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1820 単位時間	50 単位時間	120 単位時間	1650 単位時間	—	—
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		8人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) (概要) 技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、ファッション産業における雑貨製品の企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。 雑貨製品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、提出課題、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。
学修支援等

(概要) 産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
—	—	—	—
(主な就職、業界等) アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、小売業等			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等			
(備考)（任意記載事項） 令和4年度よりファッション雑貨デザイン学科からファッションクラフトデザイン学科（2年制）に学科名称を変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
—	—	—
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	ファッション専門課程	ファッション雑貨デザイン学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1820 単位時間/単位	50 単位時間	120 単位時間	1650 単位時間	—	—
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

20人	3人	0人	1人	6人	7人
-----	----	----	----	----	----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）（概要）技術・感性・知性の各々の要素のひとつひとつを培いながら、日本の優れたものづくりに貢献できる、ファッション産業における雑貨製品の企画・製造部門の専門人材を育成することを目標としている。</p> <p>雑貨製品の製造から流通に至る過程を、企業との連携によるプログラム等を活用しながら、作品の実製作から販売にいたるまで演習をとおして学修する。</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>試験、提出課題、授業態度を評価する。</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>規定の出席日数を満たし、規定の課題を提出し、試験に合格する。</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <p>産業界と連携したプログラムを実施するため、企業等の見学を充実させるとともに素材提供等の支援を受けている。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 （100%）	0人 （0%）	7人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等）			
アパレル企業、雑貨メーカー、専門店、小売業等			
（就職指導内容）			
キャリアデザインセミナー、就職試験対策講座、卒業生トークセミナー、校内企業セミナー、インターンシップ			
（主な学修成果（資格・検定等））			
ファッション色彩検定、ファッションビジネス検定、ファッション販売検定 等			
（備考）（任意記載事項）			
令和4年度募集停止、ファッションクラフトデザイン学科（2年制）に学科名称を変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%

<p>(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振</p>
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担当教員による補習・個人面談、上級教員による個人面談・カウンセリング等</p>



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション・ブ ロデュース学 科	30 万円	81 万円	35 万円	
トップクリエイ ター学科	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッションク リエーター学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションク リエーターア ドバンス学 科	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションビ ジネス学科 トップマネジ メントコース	30 万円	70 万円	35 万円	
ファッションビ ジネス学科 スタイリスト コース	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションビ ジネス学科 ファッション ビジネス コース	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッションビ ジネス学科 ブライダル ファッション ・ビジネス コース	30 万円	70 万円	35 万円	
スタイリング フォト学 科	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッション デザイン学 科 (3 年制)	30 万円	81 万円	35 万円	
ファッション デザイン学 科 (2 年制)	30 万円	60 万円	35 万円	
ファッション 雑貨デザイン 学科	30 万円	60 万円	35 万円	(令和 4 年度募集停止)
ファッション クリエーター 夜間学 科	10 万円	27 万円	19 万 5 千円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.uedagakuen.ac.jp/school.html">http://www.uedagakuen.ac.jp/school.html</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)

卒業生、企業委員、地域関係者、学校関係有識者から構成される学校関係者評価委員会を開催し、自己点検評価報告書に基づき、校長・各担当が学校の現況を説明し、学校運営についての御意見を頂戴している。内容は教員全体会議で発表・検討し、改善に活用している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関西整染株式会社 日比 吉彦	令和元年4月1日 ～令和5年3月3 1日 (任期更新)	企業関係者・卒業生
大阪市北区商店会総連合会 副会長 三島 保	令和元年4月1日 ～令和5年3月3 1日 (任期更新)	地域関係有識者
一般社団法人 大阪自由大学理事長 池田 知隆	令和元年4月1日 ～令和5年3月3 1日 (任期更新)	教育関係有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の 名称及び入手方法) <a href="http://www.uedagakuen.ac.jp/school.html">http://www.uedagakuen.ac.jp/school.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ URL: <a href="https://www.ucf.jp/">https://www.ucf.jp/</a> 学園ホームページ URL: <a href="http://www.uedagakuen.ac.jp/">http://www.uedagakuen.ac.jp/</a> 学校パンフレット HP、電話などで資料請求
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

\*「－」は、個人情報へ配慮するための伏字であり、記載すべき合計値等には一切影響を与えないことに注意すること。

学校名	上田安子服飾専門学校
設置者名	学校法人 上田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		148人	141人	－
内 訳	第Ⅰ区分	21人	19人	
	第Ⅱ区分	36人	35人	
	第Ⅲ区分	91人	87人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				158人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	—
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	39人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	39人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。